

SC-52 クリア・ザ・ボード

“Clear the board” by Lary Faris

抄訳：薩川俊三

1.何故クリア・ザ・ボードをするのか？ (Why clear the board)

クリア・ザ・ボードは、強くシュートして、コート上の相手ディスクの端に当てて、相手のディスクと自分のシュートディスクの両方を、ガターに出す戦法だ。エキスパートのプレイヤーは、自分がハンマーを持っている時と、リードしている時に、この戦法を使う。

(1)相手が置いたセントピートやタンパをクリア・ザ・ボードする

先攻のプレイヤーは、ほとんど何時もセントピートかタンパを置いて、後で、そのディスクの背後に自分のディスクを隠す準備をする。後攻のプレイヤーは、相手が置いたセントピートやタンパをクリア・ザ・ボードして背後に得点するのを阻止する。

(2)相手ディスクをクリア・ザ・ボードして、自分のハンマー得点エリアをオープンにする

ハンマーを得点する時に、得点エリアがオープンであることが最善だ。相手ディスク3つをクリア・ザ・ボードすれば、相手がハンマー得点を妨げるディスクは1つだけだ。

(3)リードしている際は、常にクリア・ザ・ボードで、コート上に自分のディスクを残さない

リードしている際は、ハンマーを持っている時も、持っていない時も、相手と自分のディスクをクリアして、自分のディスクが10オフに入れられないようにする。

(4)クリア・ザ・ボードで、後攻の相手が1フレームで1つ以上得点しないようにする

後攻の相手はディスク3つをガターに出されると、7か8か10を得点できるだけだ。

(5)クリア・ザ・ボードを繰り返すと、相手が戦意を喪失することがある

時には心理的な効果がある。自分のディスクが繰り返してガターにたたき出された相手は、無駄だ、うんざりだと少し諦めて気を抜くことがある。

(6)クリア・ザ・ボードをする試合は勝つことが多い

クリア・ザ・ボードをするのは、それを行なっている時に勝つことが多いからだ。

2.セントピートやタンパのクリア・ザ・ボードを防ぐ (Muddying the board)

自分が置いたディスクをクリアされるプレイヤー(クリアリーと呼ぶ)は、ディスクを置いて、相手がクリア・ザ・ボードをミスして、置いたディスクかキューディスクを自分の最適位置に残すことを望む以外に、することがないように見える。しかしクリアリーの対策がある。

(1)クリアリーは、セントピートを置く場所を転々と変える

相手がセントピートの左端に当てた時は、次のセントピートを少し右に置く。相手が前のやり方のままであれば、ミスをすることがある。セントピートの位置を左、右、深く、浅くと、変化させる。野球のピッチャーが内に、外に、高く、低くと、投球を変えるのと同じだ。セントピートを2つ、それからタンパを置くと相手がミスをすることがある。

(2)セントピートやタンパをシュートするペースを変える

例えば最初の2つの標的は通常のペースで、それから第3の標的は非常に素早く置くと、相手がクリアリーのペースに巻き込まれることがある。

素早いペースを暫く続けると、相手は疲れてミスをし始めることもある。